

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 8年 3月 10 日

事業所名 多機能型事業所 なないろの虹

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			十分なスペースをとっている。	
	2 職員の配置数は適切である	○			医療ケアが必要な利用者が中心の為、看護師を人員基準以上配置している。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			屋外は屋根付きスロープがあり、入口にスロープの設置により、移動がスムーズな担当者、目標を評価し、新たな目標を立案・提案。それらを職員間で検討・訂正	バギーが通れるように簡易スロープを利用して調整している。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○				
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○				保護者向けアンケートを実施している。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			事業所内の玄関に保護者に見えるところに掲示している。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○		第三者による評価は行っていない。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			定期的に研修の場を設け、終了時には感想やレポートにまとめて研修内容を振り返る。	職員研修を行なうことで周知できるよう努めていく。
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			日々の様子を観察し、利用者の実態と保護者の要望等を合わせて、活動内容を計画実施している。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			医療機関等で実施されたアセスメントの結果を活用している。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			日々の話し合いで立案している。	話し合いの場を設け、活動の立案に努めていく。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			季節の応じた活動や戸外活動を取り入れている。	色々なことを行っているが、今後も季節に
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○				
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			個別活動になりがちなので、ゲームなどの集団活動を多く取り入れている。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○				支援前に支援内容の確認を行っていくことで注意点などの把握ができるようにしている。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			気付いた点はその都度、職員間で相談している。 支援終了時にはその日あったことを管理者報告している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			毎日、個別の記録を記入して利用者の状態の振り返りや確認に繋げている。	
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			年に2回モニタリングを行い、計画の見直しを行っている。	半年ごとに見直しを行い、現状アセスメントによっては計画の変更をしている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○				
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			サービス管理責任者、看護師、児童指導員が参加している。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○			学校の担任および、担当者の施設訪問を受け入れたり、お便りを配布するなどして情報交換している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			情報が交錯しないように、必ず保護者を通して連絡合っている。	引き続き保護者との連絡を密に取り合っていく。また、主治医との連携を図り、情報共有に努め十分な支援が行えるように体制を整えていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○				
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			学校とは、卒業後の移行支援会議を行い 他事業所とは、相談支援員を交え情報交換を行っている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○				
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			気候が良いときは、散歩に出かけ挨拶を交わすなど地域との交流を心掛けている。	障がいがない子どもとの交流の機会を今後設けていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○				
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			送迎時を利用して、その日の状況を伝え合い、情報共有している。	今後も、情報を共有して共通理解を図っていく。

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○			ペアレント・トレーニングの研修は行っていないが、相談については、その都度対応している。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている		○			契約時に運営規定、支援内容、利用者負担等、重要事項説明書と合わせて丁寧に	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている		○		直接、電話連絡やメールなどで相談内容を把握して即時対応している。		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○		保護者会の機会が少ないため、今後機会を設けられるように努めていく。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している			○		速やかに管理者に報告している。その後、保護者に直接情報交換して対応している。要望や助言も記録に残している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している			○		活動内容や写真を載せたお便りの定期的な発行、連絡帳やインスタグラムのSNSでの情報発信している。	引き続き、お便りやSNSでの情報発信をしていく。
	35	個人情報に十分注意している			○		特に写真などの発信には注意を払っている。同意書にて保護者には了承をとっている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている			○		子供への説明は、言語だけではなく写真など特に視覚化して行っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている				○		社会参加への促しに努めていく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している				○	必要なマニュアルは、見える位置に掲示している。災害時備蓄などは保管し、毎月、期限の確認も行っている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている				○	地震や洪水、火事を想定して定期的に避難訓練を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている				○	ミーティングでの報告、勉強会を行い職員間での周知に取り組んでいる。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している				○		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている				○		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している				○	ヒヤリハット報告書を作成し、全職員に周知できるような環境を整えている。ミーティングでヒヤリハットの振り返りを行っている。	今後もヒヤリハットの事例を全職員に周知し事故防止に努めていく。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 8年 3月 10日

事業所名 多機能型事業所 なないろの虹

保護者等数（児童数） 3 回収数 割合 100 %

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	3			大きなバギーでも余裕で入り、十分なスペースがあると感じています。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	3			一人一人目が行き届いている感じで、安心して利用しています。	安心安全な環境づくりに努めています。マンツーマンで対応しています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	3			駐車場からスロープがあり、雨にもぬれずにスムーズに屋内に入ることができます。	利用者様に負担の無いように環境整備に努めるようにしています。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	3			子供に寄り添った支援をして下さり信頼しております。	
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	3			毎回、いろんな工夫がなされています。	固定化しないように、楽しんでいただけるように計画を立てています。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3			イベントが豊富です。	
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	3				
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができているか	3			日々の様子、学校からの様子や伝言も丁寧に伝えていただいております。	その日の1日通しての体調の様子を保護者に伝えるようにお知らせしています。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	3			スタッフさんが、話しやすく、安心して相談させていただいています。	お迎えの時など、困りごとなどお話を聞かせて頂いています。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3			・保護者間の交流・機会は少ないと思う。 ・保護者同士、お土産をいただいたり、横のつながりも大事にされていると感じ	保護者間の交流を設ける機会が少ないので、今後開催できていくとよいと考えています。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3				相談が来たときは、迅速に話を伺い対応できるようにしています。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	3			連絡や情報提供は、まめにしてくださっています。	
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	3			お便りや、ホームページにインスタグラムなど、いつも楽しみに拝見させていただいております。	定期的にお便りの配布、インスタグラムの更新を引き続きおこないます。
14 個人情報に十分注意しているか	3					

非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	2	1	リスク管理は完璧だと思います。安心安全に利用させていただいております。	各マニュアルを策定しています。保護者様に周知していけるように努めます。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3		安全につとめてくださっており、信頼しています。	避難訓練は利用者さんも一緒に参加していただいています。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	3		いつも楽しみにしております。	季節ごとの制作や活動を取り入れて行っていきたいと思います。
	18	事業所の支援に満足しているか	3		親身に関わってくださり、親子共々感謝しかありません。満足しています。	これからもニーズに応えられるように努めてまいります。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。